



# 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年11月8日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 大証第二部  
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小田 博英  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 廣瀬 俊二 TEL (0774) 44-4923  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当金支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第2四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,232	3.5	215	△30.6	215	△28.4	133	△25.1
24年3月期第2四半期	2,157	2.2	310	48.1	301	49.2	178	403.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	13 92	—
24年3月期第2四半期	18 60	—

(注) 当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,569	5,326	81.1
24年3月期	7,338	5,355	73.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,326百万円 24年3月期 5,355百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	18 00	18 00
25年3月期	—	0 00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	18 00	18 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,600	5.4	819	△18.1	828	△16.6	562	2.5	58 53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 5「2 サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	9,619,500株	24年3月期	9,619,500株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	3,399株	24年3月期	3,223株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	9,616,144株	24年3月期2Q	9,616,638株

(注) 平成24年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、所有株式数を1株につき1.1株の割合をもって分割いたしました。なお、前事業年度末及び前年同四半期累計期間に係る株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

添付資料の目次

1	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2	サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
	(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3	四半期財務諸表	6
	(1) 四半期貸借対照表	6
	(2) 四半期損益計算書	8
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
	(4) 継続企業の前提に関する注記	10
	(5) セグメント情報	10
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、震災の復興需要等を背景に緩やかな回復傾向が見られたものの、長引く円高や欧州の債務問題に加え、日中関係の悪化による影響等、景気の下振れ懸念もあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

美容業界におきましては、美容室顧客の来店サイクルの長期化や来店客数の減少、客単価の下落等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」を基本とし、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレットリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、主力となるトイレットリーの販売が好調であったことから、前年同四半期を上回りました。

一方、原価につきましては、「コタ株式会社 京都工場」に関する減価償却費が発生していることから、前年同四半期を上回りました。販売費及び一般管理費につきましては、新製品の発売に伴う販売促進費の増加等により、原価と同様に前年同四半期を上回りました。なお、京都工場に関する減価償却費は当事業年度が最大であり、翌事業年度以降は減少する見込みであります。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,232百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は215百万円（前年同四半期比30.6%減）、経常利益は215百万円（前年同四半期比28.4%減）、四半期純利益は133百万円（前年同四半期比25.1%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、以下のとおりであります。

#### ① トイレットリー

トイレットリー（シャンプー、トリートメント）は当社の主軸となる製品群であります。毛髪のダメージケアに対する消費者の関心が高くなっており、一般市場品におきましても高付加価値なトイレットリー製品へのニーズが増加しております。

当社では、引き続き美容室の来店客に対する毛髪のカウンセリングとトイレットリーを中心とした店販の推進を美容室に提案してまいりました。さらに、平成24年2月に発売いたしました新製品「コタ アイケア」の販売も堅調に推移いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,348百万円（前年同四半期比8.8%増）、セグメント利益（売上総利益）は958百万円（前年同四半期比1.8%増）となりました。

#### ② 整髪料

ヘアスタイルの多様化に伴い、一般市場品との競合が激しいセグメントとなっておりますが、業務用品市場は拡大している状況ではありません。

当社では、平成24年6月にスーパーハードをコンセプトとした新製品「コタ スタイリング SH」、同年8月にカールスタイルを美しくキープする新製品「コタ スタイリングメイク」を発売いたしました。

しかしながら、当第2四半期累計期間の売上高は399百万円（前年同四半期比0.8%減）、セグメント利益（売上総利益）は304百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。

③ カラー剤

白髪を染めるグレイカラーと若年層中心のファッションカラーを含め、一般市場品との競合が激しいセグメントとなっております。

当社では、主力の「グラフィカ」におきまして、引き続き販促ツールを利用した販売を推進してまいりました。

しかしながら、当第2四半期累計期間の売上高は235百万円（前年同四半期比9.2%減）、セグメント利益（売上総利益）は165百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

④ 育毛剤

一般市場品との競合が激しいセグメントとなっており、業務用品市場は拡大している状況ではありませんが、美容室でのヘッドスパやスキャルプメニューに対する消費者の関心が高くなっておりあります。

当社では、主力の「コタ セラ」シリーズを中心に、頭皮の洗浄や育毛効果のあるヘッドスパメニュー等の導入提案を行ってまいりました。

しかしながら、当第2四半期累計期間の売上高は98百万円（前年同四半期比3.2%減）、セグメント利益（売上総利益）は79百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。

⑤ パーマ剤

ヘアスタイルのトレンドがパーマに回帰する傾向は見受けられず、パーマ需要は引き続き減少傾向にあると推測されます。

当社では、平成24年8月に新製品「コタウェーブ リジカル」を発売し、美容室に対してパーマメニューの提案やカウンセリングを通じたパーマスタイルの提案を積極的に行ってまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は89百万円（前年同四半期比25.9%増）、セグメント利益（売上総利益）は58百万円（前年同四半期比18.2%増）となりました。

⑥ その他

美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタ アカデミー」の受講料等の収入を計上しております。

当第2四半期累計期間の売上高は60百万円（前年同四半期比26.6%減）、セグメント利益（売上総利益）は25百万円（前年同四半期比20.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期会計期間の総資産は、前事業年度から768百万円減少し、6,569百万円となりました。

主な要因としては、たな卸資産が349百万円増加し、売掛金が549百万円、有価証券が445百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間の負債は、前事業年度から740百万円減少し、1,242百万円となりました。

主な要因としては、販売奨励金引当金が94百万円増加し、未払金が689百万円、未払法人税等が181百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間の純資産は、前事業年度から28百万円減少し、5,326百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が23百万円減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、81.1%（前事業年度73.0%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末より459百万円減少し、1,210百万円（前年同四半期比75百万円減）となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、217百万円（前年同四半期比24百万円増）となりました。

収入の主な要因としては、税引前四半期純利益215百万円及び売上債権の減少540百万円であり、支出の主な要因としては、たな卸資産の増加349百万円、法人税等の支払いによる支出279百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、520百万円（前年同四半期比252百万円減）となりました。

収入の主な要因としては、投資有価証券の売却による収入27百万円であり、支出の主な要因としては、有形固定資産の取得による支出547百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、157百万円（前年同四半期比14百万円増）となりました。

支出の主な要因としては、配当金の支払いによる支出157百万円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境につきましては不透明な要素が多く、景気動向によっては美容室の経営に直接影響する事態を招き、第3四半期以降の当社の業績に影響を及ぼすことも考えられます。

しかしながら、当社では創業精神である「美容業界の近代化」を基本とし、事業活動を行うことには何ら変わりなく、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」に引き続き注力する考えであります。

なお、業績予想につきましては、京都工場の一部設備に関する減価償却費が見込みより少額となったことにより、売上原価の実績が当初の見込みよりも低く推移していることに加え、販売費及び一般管理費の各費目における実績が当初の見込みよりも下回ったことから、平成24年5月10日に公表いたしました当事業年度の通期の業績予想を以下のとおり修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想（A）	百万円 5,600	百万円 769	百万円 739	百万円 509	円 銭 52 99
今回予想（B）	5,600	819	828	562	58 53
増減額（B－A）	－	50	89	53	－
増減率（％）	－	6.6	12.1	10.4	－
（ご参考） 前期実績 （平成24年3月期）	5,314	1,001	994	548	57 08

## 2 サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ1,802千円増加しております。

3 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	52,996	38,883
受取手形	45,071	55,080
売掛金	1,062,809	513,627
有価証券	1,617,054	1,171,463
商品及び製品	333,127	639,221
仕掛品	11,300	31,420
原材料及び貯蔵品	166,230	189,050
その他	183,905	138,451
流動資産合計	3,472,495	2,777,199
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,552,569	1,489,699
土地	1,158,906	1,158,906
その他（純額）	629,300	668,073
有形固定資産合計	3,340,776	3,316,679
無形固定資産	110,707	95,601
投資その他の資産	414,187	379,939
固定資産合計	3,865,670	3,792,219
資産合計	7,338,166	6,569,419
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	77,672	100,784
未払金	940,379	251,322
未払法人税等	285,900	104,000
賞与引当金	160,733	139,684
役員賞与引当金	—	10,050
販売奨励引当金	8,019	102,337
その他	93,086	98,274
流動負債合計	1,565,790	806,453
固定負債		
退職給付引当金	18,041	16,046
役員退職慰労引当金	293,500	314,522
長期預り保証金	105,655	105,430
固定負債合計	417,196	435,999
負債合計	1,982,987	1,242,452

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,800	330,800
利益剰余金	4,635,776	4,612,306
自己株式	△1,537	△1,666
株主資本合計	5,352,839	5,329,240
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,339	△2,273
評価・換算差額等合計	2,339	△2,273
純資産合計	5,355,178	5,326,966
負債純資産合計	7,338,166	6,569,419

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,157,918	2,232,676
売上原価	549,108	640,693
売上総利益	1,608,809	1,591,982
販売費及び一般管理費	1,297,967	1,376,243
営業利益	310,842	215,739
営業外収益		
受取利息	1,456	712
受取配当金	1,274	2,420
投資有価証券売却益	—	2,981
受取賃貸料	2,844	2,650
その他	2,155	6,255
営業外収益合計	7,730	15,020
営業外費用		
投資有価証券売却損	3,354	3,819
たな卸資産廃棄損	6,749	8,808
賃貸費用	3,047	1,066
その他	3,948	1,175
営業外費用合計	17,100	14,869
経常利益	301,472	215,890
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,188	—
特別利益合計	2,188	—
特別損失		
投資有価証券評価損	5,844	—
その他	412	—
特別損失合計	6,257	—
税引前四半期純利益	297,402	215,890
法人税、住民税及び事業税	124,532	97,761
法人税等調整額	△5,970	△15,758
法人税等合計	118,561	82,002
四半期純利益	178,841	133,887

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	297,402	215,890
減価償却費	40,385	200,601
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,188	—
賞与引当金の増減額（△は減少）	△12,090	△21,049
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	10,252	10,050
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△3,705	△1,994
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,571	21,022
その他の引当金の増減額（△は減少）	81,702	94,317
受取利息及び受取配当金	△2,731	△3,132
投資有価証券売却損益（△は益）	3,354	838
投資有価証券評価損益（△は益）	5,844	—
売上債権の増減額（△は増加）	401,052	540,716
たな卸資産の増減額（△は増加）	△151,415	△349,034
仕入債務の増減額（△は減少）	14,034	23,112
その他	△261,527	△237,022
小計	425,943	494,315
利息及び配当金の受取額	2,575	2,974
法人税等の支払額	△235,532	△279,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	192,986	217,627
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	400,000	—
投資有価証券の取得による支出	△51,500	—
投資有価証券の売却による収入	290	27,609
有形固定資産の取得による支出	△1,090,720	△547,863
その他	△31,000	72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△772,929	△520,181
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△219	△129
配当金の支払額	△142,287	△157,020
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,507	△157,149
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△722,450	△459,703
現金及び現金同等物の期首残高	2,008,257	1,670,050
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,285,806	1,210,347

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレットリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,240,252	402,996	259,391	101,657	71,481	2,075,778	82,139	2,157,918
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,240,252	402,996	259,391	101,657	71,481	2,075,778	82,139	2,157,918
セグメント利益	941,837	318,842	185,375	81,747	49,358	1,577,160	31,648	1,608,809

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室等の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタ アカデミー」の受講料等の収入を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,577,160
「その他」の区分の利益	31,648
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△1,297,967
四半期損益計算書の営業利益	310,842

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	トイレタリー	整髪料	カラー剤	育毛剤	パーマ剤	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,348,816	399,590	235,566	98,396	89,984	2,172,353	60,322	2,232,676
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,348,816	399,590	235,566	98,396	89,984	2,172,353	60,322	2,232,676
セグメント利益	958,604	304,546	165,915	79,413	58,317	1,566,798	25,184	1,591,982

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、美容室で利用されるDMやチラシ等の販促物の販売、施術時に使用する美容小物品等の販売、美容室の店舗改装及び出店時に必要な美容器具類の販売等、並びに美容室のアシスタントスタッフを対象とした美容技術を学ぶことができる講座である「コタ アカデミー」の受講料等の収入を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,566,798
「その他」の区分の利益	25,184
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△1,376,243
四半期損益計算書の営業利益	215,739

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の「トイレタリー」のセグメント利益が466千円、「整髪料」のセグメント利益が138千円、「カラー剤」のセグメント利益が81千円、「育毛剤」のセグメント利益が34千円、「パーマ剤」のセグメント利益が31千円それぞれ増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。